

主要施策 6 県立学校施設再整備計画（新まなびや計画）の推進

予算額 17,722,116千円
 (前年度 16,382,393千円)

【基本的な考え方】

「県立学校施設再整備計画」（新まなびや計画）に基づき、県立学校の耐震・老朽化対策、トイレ整備、県立高校改革関連施設整備等に総合的に取り組む。

1 新まなびや計画

(1) 概要〔計画期間：平成28年度～39年度の12年間、総事業費：1,500億円程度〕

- 校舎等の耐震化による児童・生徒等の安全性の確保
 - ・要小規模補強約200棟の耐震化を、35年度を目途に完了
- 老朽化緊急対策と総合的老朽化対策による快適な教育環境の整備と施設の長寿命化
 - ・計画期間内に、耐震化と併せた総合的な老朽化対策等を実施
- 現代の生活様式等を踏まえた県立学校のトイレ環境の改善
 - ・県立学校約400棟の洋式化等の整備を、35年度を目途に完了
- 県立学校の特別教室等における空調の整備
 - ・高校は生徒の使用頻度が高い特別教室を、特別支援学校は特別教室・体育館を整備対象とし、空調設備を整備
- 県立高校改革を推進するための施設整備
 - ・再編・統合等に対応するため、計画期間内に、必要な校舎棟の整備を実施
- 特別支援学校の計画的整備等
 - ・横浜北部方面特別支援学校等の整備を実施

(2) 整備スケジュール

項目	期間	第1期 (H28～31)	第2期 (H32～35)	第3期 (H36～39)
耐震対策		小規模補強工事等		
老朽化対策		緊急対策工事、長寿命化対策工事等		
トイレ環境改善		便器の洋式化、排水管更新等		
空調設備整備		使用頻度の高い特別教室等の空調設備整備		
高校改革推進		校舎の増改築、改修		
特別支援学校施設整備		新校等整備、耐震・老朽化対策等		

2 事業内容（平成31年度）

主な事業名及び事業概要	予算額
① 耐震対策等（補強が必要な校舎棟等の耐震対策及び老朽化対策） <調査・設計> 寒川高等学校など 45校 <耐震化工事> ・耐震補強工事 光陵高等学校など 25校 <仮設対応等> 相模原養護学校など 47校 <除却工事> 大磯高等学校など 2校 <老朽化対策> 二俣川看護福祉高等学校など 13校 <その他> 生田高等学校グラウンド整備 教育施設環境整備事業 など	6,958,467千円
② 現代の生活様式等を踏まえた県立学校のトイレ環境の改善 ・県立学校のトイレの洋式化等に係る整備 ・平成31年度は101棟について整備予定	5,219,554千円
③ 県立学校の特別教室等における空調の整備 高校は生徒の使用頻度が高い特別教室を、特別支援学校は特別教室・体育館を整備対象とし、平成31年度は32年度工事の設計等を実施	50,290千円
④ 県立高校改革を推進するための施設整備（再掲） 県立高校改革実施計画に伴う学科改編等に必要の整備	2,484,105千円
⑤ 特別支援学校の計画的整備等（再掲） ・横浜北部方面特別支援学校新築工事 ・小田原養護学校湯河原・真鶴方面分教室新築工事	3,009,700千円
合 計	17,722,116千円

その他	予算額
⑥ 県立学校におけるバリアフリー化の推進（再掲） 「新まなびや計画」において、県立学校のみんなのトイレの整備やエレベーターの設置など環境整備に取り組むとともに、障がいのある生徒や教職員の状況に応じた対応を実施	795,674千円 (各所営繕で措置する15,000千円を含む)



⑦ 県立学校のグラウンド等の一部芝生化を促進するための寄附金を募集

児童・生徒がストレッチや休憩に使用するグラウンドや中庭の一部芝生化に、ふるさと納税等による寄附金を活用（31年度にまなびや基金への寄附を募集→32年度に芝生化を実施予定）

（問合せ先）

【①～③、⑥、⑦】	教育局行政部教育施設課	課長	日比野	電話 045-210-8061
【④】	教育局指導部高校教育課	高校教育企画室長	倉田	電話 045-210-8370
【⑤】	教育局支援部特別支援教育課	課長	柏木	電話 045-210-8214
【⑦】	教育局行政部財務課	課長	篠田	電話 045-210-8100